

科目名：英語Ⅱ〈医用英語〉		選	2 単位
( English Ⅱ 〈Medical English〉 )			
履修年次/時期：1 年次 後期 授業形態：講義			
担当教員：川口雅之			
学修目的	<p>看護師を目指す皆さんに将来の職場（医療現場）で実際に役立つ医用英語の基礎を修得してもらいます。          （英語Ⅰの履修者の「英語によるコミュニケーション能力」のさらなるステップアップを目指します。）</p> <p>DP3(2)およびCP5に関連する。 科目 No. KLI-104</p>		
到達目標	<p>①医療現場の状況に応じた基本的な会話表現ができる。</p> <p>②病院内の基本的な案内ができる。</p> <p>③基本的な問診ができる。</p> <p>④病気の基本的な説明ができる。</p> <p>⑤主な診療科での患者との基本的な問答ができる。</p> <p>⑥入院や手術の際の患者との基本的な問答ができる。</p> <p>⑦看護師による検査（採血など）の基本的な会話表現ができる。</p> <p>⑧医療現場でよく用いられる基礎的な用語・表現に習熟できる。</p>		
授業概要	<p>英語は、グローバル化の進む現代社会では、好き嫌いに関係なくますます必要不可欠な国際語です。「日本人だし海外にも行かないから英語なんて不必要」と思っている人は、その思い込み（偏見）をこの授業を機に改めましょう。英語を母国以外でコミュニケーション手段にしている外国人（英語が母国語でない人が半数以上です）が日本に來たり住んだりする機会が年々増加し、事故や病気などで日本の医療機関を利用する機会も増加しています。見知らぬ国で「言葉が全然通じない」ことがどれほど不安なことか、外国人の身になって考えてみてください。少しでも「相手にわかる言葉で話しかけること」が相手にどれほど安心感を与えるか、いわんや、急な事故や病気などで困っている人にはなおさらですよ。そのような「困っている人の気持ちに寄り添える人」が医療従事者である看護師なのです。この授業では、患者と看護師との状況（診療）に応じた基本的な会話を教材にして、受講者の皆さんに病院などの医療現場で実際に役立つ医用英語の基礎的表現を修得してもらいます。</p>		
評価方法	<p>学期末試験・レポート（但し、対面授業の際は、受講態度〔積極性〕も参考にします。）</p> <p>試験・レポートに対するフィードバックは、授業時もしくは掲示によって行います。</p>		
予習・ 復習時間	<p>【予習】 2時間</p> <p>【復習】 2時間</p>		
教科書	<p>オンライン授業では学習資料（テキスト）を毎回配信します。</p> <p>対面授業では学習資料（テキスト）を毎回配布します。</p>		
参考書	<p>授業の際にそのつど指示します。</p>		
オフィス- 連絡先	<p>月曜日～金曜日（9:30～17:30）3号館3階研究室</p> <p><a href="mailto:kawaguti@kdu.ac.jp">kawaguti@kdu.ac.jp</a> 不在時はメールや伝言用紙を利用してください。</p>		